



I found it! (みい〜つけた!)

## We ♥ English!

8月24日に、第1回かっこ英語かるた大会がありました。日常会話や学校でよくある光景から市内の小学生が考えて作ったオリジナルかるたを使用。英語のフレーズを聞いてからみんなで復唱して、勢いよく手を伸ばしていました。「人見知りだけど、いつもとは違う感じで楽しめた」「面白かった。もっと英語を知りたいと思った」など、これからの英語との出会いに目を輝かせた児童がたくさんいました。

## 夜にしかできない特別な体験

8月25日、戦国山城ミュージアムで夏休み特別企画の「ナイトミュージアム」を行いました。普段は入ることのできない夜の館内探検や、昨年に引き続き行われた竹あかりなど、兼山の地を訪れた人たちは一夜限りの特別な夜を過ごしました。

家族とともに初めて訪れた子どもからは、「夜に入ることができて、とても面白かった。夏休みの良い思い出になりました」と話してくれました。



復元した城のジオラマを見つめる子どもたち



災害救助犬の模擬演技の様子(下恵土地区センター)

## 災害への備え、できていますか?

9月2日に南海トラフ地震を想定した防災訓練を実施し、市内全域で約1万6,000人が参加、市内42カ所で避難所を開設しました。うち17カ所では地域を主体とした避難所開設運営訓練や、協定業者と合同でドローンによる情報収集、AEDの使用訓練などが行われました。

災害はいつ起こるか分かりません。いざという時に自分や家族の身を守れるよう、日頃から準備をしておきましょう。

## 秋といえばさよめし!

今渡地区センターで9月3日、さよめし講座が開かれました。さよめしは日本五名飯にも選ばれている可児の郷土料理。秋に塩漬けたさんまを旬の野菜などと一緒に炊き込みます。

講師の中根章子さんが具材や調味料を説明しながら受講者に作り方を実演。「さよめしは可児の自慢。ぜひ若い人たちにも知って、たくさん食べてもらいたい」と思いを語りました。



中根さん(中央)と受講者の皆さん

## 竹あかりきれいだな

久々利城下ぶらり歩きが8月18日に開催されました。このイベントは久々利城下の街並みの魅力を多くの人に知ってもらおうと、地元団体の久々利城跡城守隊と市が主催。竹の伐採から模様づくり抜き、組み立てまで一連の竹あかり制作活動に6月末から取り組みました。

また、若い人たちと一緒に市の事業を進める「Kanisuki若者プロジェクト」とも連携し、可児工業高校建設工学科の皆さんも制作に協力。メイン会場となる泳宮にハートや鯉の模様など、さまざまな形を彫った竹あかり約200本を飾り付け、個性あふれる素敵な空間に仕上げました。

他にも、地元の皆さんによって作られた竹あかりや行燈も街並みの所々で点灯。どこからともなく武将隊の皆さんも集まり、幻想的な街並みに溶け込んでいました。



城守隊や地元の皆さんの作業の様子



プロジェクト名誉局長の塚本明里さん(中央)と可児工業高校の皆さん



世界で僕だけの五平餅

## 可児のお米が一番!

8月19日に、マーノのキッチンスタジオでOyoneマルシェが開かれました。可児マイスターズが主催するイベントで、可児のお米を使ったおにぎりや五平餅作りなどに、多くの家族でにぎわいました。

「お米に楽しくふれてほしい」と3世代で参加の丸山さん一家。子どもたちは「五平餅は食べたことあるけど、自分で作ったのが一番!」とご満悦。これからは可児のお米を食べて大きく育ててね!

## 自分たちの手できれいに

8月24日、鳩吹山を緑にする会が日本道路協会から表彰を受けました。同会は国道41号帷子インター付近ごみ拾いなどの清掃活動を毎月第1土曜日に行い、長年の功績が認められました。

また鳩吹山の清掃や絶滅危惧種のヒメコウホネの生育など、さまざまな環境保全活動も行っています。

表彰を受け三品会長は「今後も細く長く活動を続けていきたい」と意気込みを語ってくれました。



鳩吹山を緑にする会の皆さん